

次代へ紡ぐ 平和への願い

戦後75年 いま考える戦争の惨禍と平和の尊さ



昭和20年3月9日、数矢国民学校(現数矢小学校)の卒業記念写真(江東図書館所蔵)。多くのこどもたちが卒業式に出席するため疎開先から帰京していました。写っている173人のこどもたちのうち半数以上が同夜の東京大空襲で犠牲になったといわれています。

毎年8月15日は戦没者を追悼し平和を祈念する日です。
 終戦から75年という節目を迎える今年、あらためて平和の尊さについて考えてみましょう ☎ 総務課総務係 ☎3647-4020、FAX3699-8773

江東区と戦争

戦争は江東区にも惨禍をもたらしました。中でも昭和20年3月9日夜半から10日未明の東京大空襲では区内のほぼ全域が焼失し、3万人以上の区民が命を落としました。また、学童集団疎開では1万2千人近くのこどもたちが親元を離れ、新潟と山形に移り住むことを余儀なくされました。

平和への思いをつなげる

区では、こうした戦争の惨禍を二度と繰り返さないという思いから、昭和61年12月13日に平和都市宣言を行いました。また戦争の記憶や平和への思いを風化させないために、パネル展などさまざまな事業を行っています。

終戦の日の正午に黙とうを 8月15日(土)正午

戦争で亡くなられた人々を追悼し、平和を祈念するために、8月15日(土)に全国戦没者追悼式が行われ、その中で正午を合図に1分間の黙とうが行われます。家庭や職場で、黙とうを捧げていただきますようお願いします。

江東区平和都市宣言

真の恒久平和は、人類共通の願いである。
 しかるに、現実を見ると、世界の核軍拡競争は激化の一途をたどり、世界の平和と人類の生存は、深刻な脅威にさらされている。
 われわれは、世界で唯一の核被爆国の国民として、核兵器をなくし世界平和実現のためへの努力を続けなければならない。
 加えて、江東区は、昭和20年3月9日夜半から10日にかけて町全域が焼失し、多くの尊い人命と財産を失った戦争体験をもって、平和を希求する江東区民の願いには一段と強いものがある。

よって、われわれは、我が国が日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念と、「非核三原則」を堅持していくことを強く求めるものである。

江東区は、平和を愛する区民の願いにこたえ、再び戦争の惨禍を繰り返してはならないことを強く世界の人々に訴えとともに、「平和都市」であることを宣言する。

昭和61年12月13日 江東区

江東区平和祈念パネル展 「東京大空襲と学童集団疎開」

東京大空襲で被災した東京のまちの写真や、学童集団疎開をしたこどもたちの写真などを展示します。
 [前期開催]8月11日(火)～17日(月)9:00～20:00(初日は13:00から、16日(日)は19:00まで) 場 江東図書館3階展示コーナー(南砂6-7-52)
 [後期開催]8月18日(火)～25日(火)9:00～21:00(初日は16:00から、最終日は13:00まで、24日(月)は休館日) 場 江東区文化センター2階展示ロビー(東陽4-11-3) ☎ 総務課総務係 ☎3647-4020、FAX3699-8773



▲焼夷弾の2/3スケールの模型

東京大空襲の貴重な体験記録 「東京炎上 夜間大空襲」配布中

空襲から逃げ惑う人々や燃えさかる町の様子を生々しく描いた貴重な体験記録です。当時中学3年生で木場に住んでいた山本鉦太郎さんが空襲の翌年に書いたものです。後に山本さんは旅行作家となり、深川を題材にした執筆もしています。小冊子は平和祈念パネル展で配布するほか、総務課総務係(4階5番窓口)でも配布しています ☎ 無料 ☎ 総務課総務係 ☎3647-4020、FAX3699-8773



▲小冊子表紙

貴重な資料を展示 「学童集団疎開資料室」

空襲の被害を避けるために、山形県・新潟県の各地に学童集団疎開したこどもたちの様子を物語る、当時の貴重な資料(写真・絵画・手紙など)や体験談を集め、展示しています。
 通年でご覧になることができます 場 江東図書館(南砂6-7-52) ☎ 3640-3151、FAX 3615-6668



▲資料室の様子

お急ぎください

期限を過ぎると支給できません

特別定額給付金 申請締切 8月31日(月)

☎ 江東区特別定額給付金コールセンター ☎0570-030192 (月～金曜 祝日を除く 午前9時～午後6時)